



渡邊長男  
「田能村竹田座像」1943年  
竹田市歴史文化館蔵

た の むら ちく でん  
**田能村 竹田**

(1777年～1835年)

豊後国岡藩竹田村(現大分県竹田市)の侍医の家に生まれた。幼少より学問、絵画にすぐれ、藩校由学館に学び、後同館の司業・頭取になった。この間、学問、詩文、絵画等を深め、また幕命による「豊後国志」も編纂した。

36歳で隠居、各地を歴遊して、頼山陽、浦上玉堂、青木木米等多くの文人墨客と交わり、いよいよ才芸を極めた。遂に「豊後南画」(文人画)を確立。後世「画聖」と称えられている。

代表作として「暗香疎影図」(重要文化財)、「歳寒三友雙鶴図」(重要文化財)、「亦復一楽帖」(重要文化財)等がある。また、画論、詩論、詩文等の著作も多い。旅先の大阪で没。享年59。

旧竹田荘(国指定史跡)は竹田先生が生まれ、育ち、生活したところである。ここで弟子たちを指導し直入・竹邨等豊後南画を代表する弟子を輩出している。建物は昭和58年、国の補助によって大修復された。



旧竹田荘

## 第78回 画聖『田能村竹田』先生を しのぶ美術祭

### 選奨

- ・ 文部科学大臣賞
- ・ 大分県知事賞
- ・ 大分県教育委員会教育長賞
- ・ 竹田市長賞 ほか

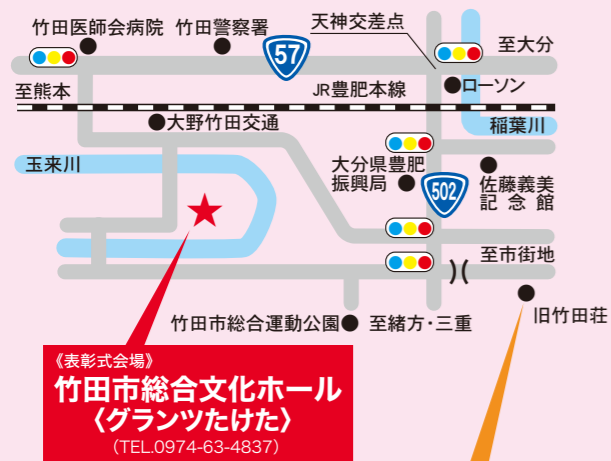


田能村竹田  
「河豚図」

寛政8年(1796)、20歳  
竹田市歴史文化館蔵  
竹田市指定文化財

# 小・中・高校生による 作品公募

第28回 大分県民芸術文化祭参加行事  
後援/大分県民芸術文化祭実行委員会  
NPO法人大分県芸術



《特賞作品展示》  
**竹田市歴史文化館**  
〈ギャラリー〉  
(TEL.0974-63-2200)

お問い合わせ  
大分県竹田市教育委員会社会教育課  
〒878-8555 大分県竹田市大字会々1650  
tel.0974-63-4817 fax.0974-63-2373

## 絵画 書写書道



令和  
8年度

# 第78回

# 画聖『田能村竹田』先生をしのぶ美術祭

## ●主催

竹田市／竹田市教員委員会

## ●共催

大分県／大分県教育委員会／田能村竹田顕彰会  
竹田市美術協会／竹田市造形教育研究会  
竹田書写教育研究会／毎日新聞社

## ●後援

文部科学省／大分県美術協会／大分県造形教育研究会  
大分県書写書道教育研究協議会／竹田教育振興協議会  
竹田市文化連盟／竹田商工会議所  
竹田市観光ツーリズム協会  
エフエム大分／NHK大分放送局／九州アルプス商工会  
竹田ライオンズクラブ／竹田ロータリークラブ

## ●募集対象

西日本（近畿以西）各地の小学生・中学生・高校生の絵画・書写書道作品

## ●特賞作品展示

令和8年10月23日(金)～11月4日(水)

場所：竹田市歴史文化館 ギャラリー

(大分県竹田市竹田 2083 TEL.0974-63-2200)

※会場の都合により、特賞52点のみの展示となりますのでご了承ください。

## ●選奨

特賞 **文部科学大臣賞** ほか50点・特選・入選

- 選奨は応募総数の20%程度で選奨数上限1,000点程度とする。
- 特賞者には盾・賞状・賞品を、特選者には賞状・賞品を、入選者には賞状をそれぞれ授与する。
- すべての出品作品は展示終了後に返却する。

## ●表彰式

令和8年11月3日(火・文化の日)

場所：竹田市総合文化ホール (TEL.0974-63-4837)

竹田市は、瀧廉太郎の名曲「荒城の月」のモデルとなった岡城跡や、「阿蘇くじゅう国立公園」のくじゅう連山と麓に広がる久住高原、ユネスコエコパークに選定された祖母山系、そして世界有数の炭酸泉と称される長湯温泉などを有する風光明媚な歴史と文化の薫り高い都市であり、南画の大家「田能村竹田」先生ゆかりの地でもあります。当市では、竹田先生を顕彰し芸術・文化の発展を願って昭和24年から『画聖「田能村竹田」先生をしのぶ美術祭』を開催しています。

本美術祭は、作品募集要項により西日本各地から作品を募集し、審査の結果、優秀作品を表彰し展示します。多くのご応募をお待ちしています。

◎この様式は竹田市ホームページよりダウンロードできます。(www.city.taketa.oita.jp/)

## ●〈作品カード〉 作品裏面に貼付してください。

右下に飛び出るようにデンプン糊で貼付

記入例（絵画の場合）

絵 画		目 録 番 号 ( )	
○ ○ 県		○ ○ 市 町 村	
学 校 名	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	5 学年	
フリ ガナ 氏 名	タケタ タロウ 竹田 太郎		
絵 の 題 名	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○		

※作品カードサイズ

絵 画：たて10cm×よこ15cm

書写書道：たて6cm×よこ7.5cm

## ●〈出品目録〉 A4 縦用紙を使用すること

- 出品目録は、作品と一緒に送付してください。
- 出品計をご記入ください。(絵画計・半紙計・半切計)
- 目録番号は欠番のない様にお願いします。
- 作品を各市町村（大分県内に限る）の教育委員会へ提出の際は、出品目録のみ竹田市社会教育課へFAXして下さい。(FAX：0974-63-2373)

記入例

<出 品 目 録> ※絵画・書写書道は別々に出品目録を作成のこと。

出品計	絵 画	2 点
	書写	半 紙 一 点
	書道	半 切 一 点

\*作品の返却について(○印をしてください。その他の場合は内容をご記入ください。)  
○返送を希望する(着払い) ・竹田市教育委員会へ直接引き取り  
・その他( )

住 所：(〒 - )  
出品校(者)名：( )  
連絡先TEL：( )

目録番号	学 校 名	学年	フリ ガナ 氏 名	備 考
1	○ ○ 小 学 校	5	タケタ タロウ 竹田 太郎	
2	○ ○ 小 学 校	5	タケタ ハナコ 竹田 花子	
3				
4				
5				
6				
7				
表省略				
19				
20				

\*続きがある場合は同じ様式で21番から番号をとってください。

## 作 品 募 集 要 項

### ① 絵画の部

- 題材…自由(ただし模写は認めない)
- 用紙…小・中学生は四つ切(38cm×54cm程度)に限る。高校生は30号以下(F:91cm×72.7cm P:91cm×65.2cm M:91cm×60.6cm S:91cm×91cm)(キャンパスの場合は、3cm以内の仮縁をつけること。ガラスの使用は不可。アクリルは可。)

### ② 書写・書道の部

- 毛筆のみとする。縦書きのものに限る。書体は自由。ただし、草書・篆書・隷書については、判読を容易にするため、別紙にて楷書の説明をつけること。また、臨書については、出典を作品カードに明記すること。
- 題材…自由
- 用紙…半紙及び半切とする。
- 半切、半紙ともにまくりで提出とする。

※表装について

特賞に選ばれた半切作品については竹田市教育委員会にて一括表装をする。  
表装料の支払いは表装店より各出品者へ請求書を送付します。(半切1本3,300円)

### ③ 注意事項

- 作品は原則未発表のものに限り他展で受賞歴のないもの
- 出品点数1人各部門1点とする。(合作は不可)
- 油絵は必ず乾燥させてから出品すること。
- 書写・書道作品の表側は、学年・氏名のみを記すものとする。
- 作品の裏面に別途様式による作品カードを貼付すること。絵画および半紙は裏面右下に貼付、半切は右下に飛び出るようにデンプン糊で貼付
- 出品校(者)においては、出品状況を把握の上、出品目録を必ず添付すること。出品目録は、右記様式に従い、A4縦型で作成のこと。(絵画・書写書道別々に作成のこと)
- 欠番のないように注意すること。出品料は無料。出品、返送の料金および特賞に選ばれた半切の表装料は出品校(者)の負担とする。
- 作品は特賞作品展示後に返却する。(着払い)返却方法については出品目録に記入してください。
- 不可抗力により作品が損傷した場合、事務局は責任を負いかねます。

### ④ 締め切り

令和8年9月15日(火) 必着

### ⑤ 送付先・問い合わせ等

事務局：  
〒878-8555 大分県竹田市大字会々1650番地  
竹田市教育委員会社会教育課  
(TEL.0974-63-4817 FAX.0974-63-2373)

- 作品は、毎日新聞社大分支部に送付・提出も可能。(大分市都町1の1の23)
- 新聞社経由の場合、出品目録にその旨を記載の上、目録は先に事務局宛に送付すること。  
毎日新聞社大分支部  
受付時間：平日10時～18時
- 毎日新聞社へ提出いただいた作品は、出品校(者)に着払いで返却か、竹田市教育委員会へ直接引き取りとなります。

### ⑥ 審査員(敬称略)

【絵画の部】

池部 俊之 高木 悦子 林 淳一郎  
秋好 稔弘 後藤 友理枝

【書写・書道の部】

児玉 元治 柏崎 典孝 池田 英徳  
佐藤 睦 藤本 篤司

### ⑦ 入賞発表

作品送付元に直接通知します。

※本美術祭に応募された方の個人情報には主催者からの案内資料送付、本美術祭の連絡以外には利用致しません。来年もご応募いただけますように出品元にご案内する予定ですが、不要な場合は事務局までお申し出ください。

